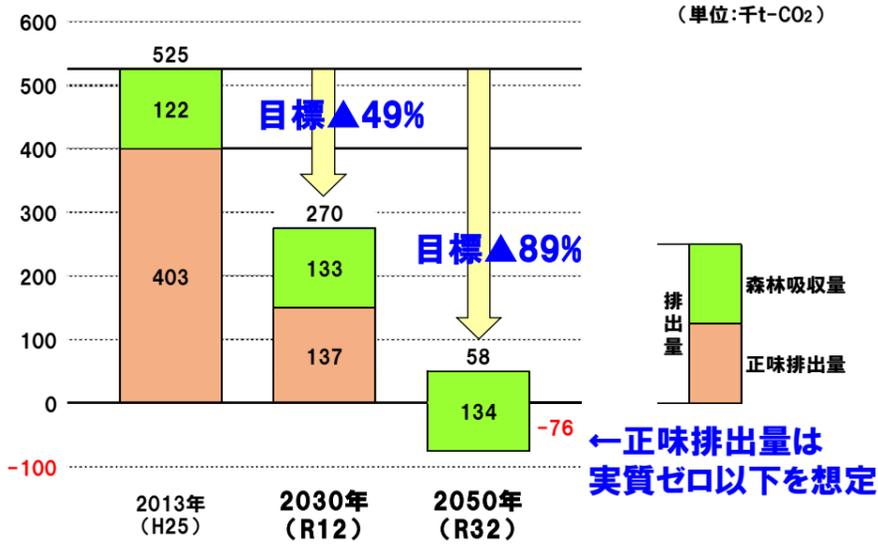


“伊那から減らそうCO₂!!” 2050年カーボンニュートラルを目指して

2050カーボンニュートラル(削減目標)

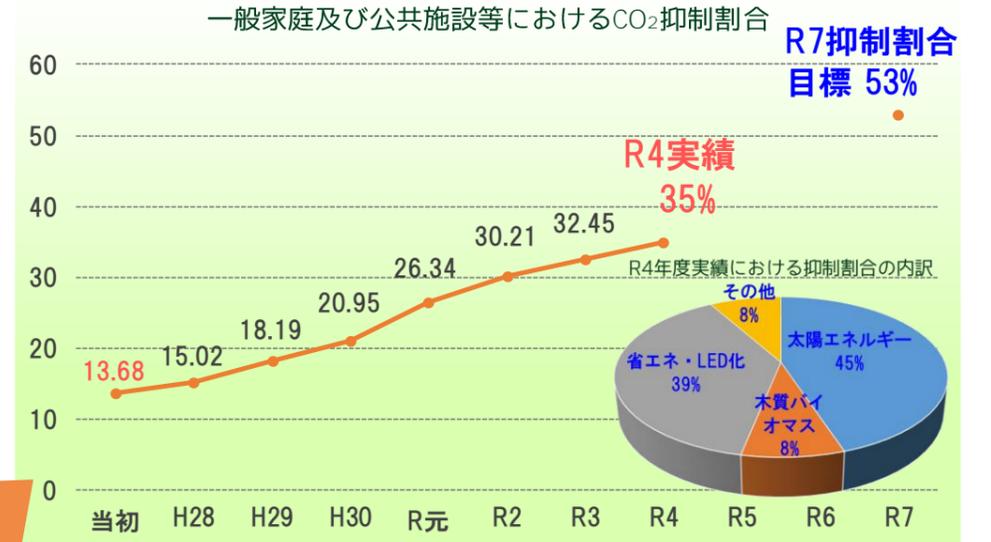


各部門におけるCO₂削減目標

部門	2013年 (基準年)	2030年 (目標)	2050年 (目標)	主な排出源
①産業部門	110	72 ▲34.5%	31 ▲71.8%	第1次、第2次産業 製造時のエネルギー使用など
②民生(業務)	116	48 ▲58.6%	7 ▲94.0%	第3次産業 事務所や店舗等の空調、給湯、照明など
③民生(家庭)	119	61 ▲48.7%	7 ▲94.1%	家庭生活 給湯、照明、家電、暖房、自家用車など
④運輸部門	178	87 ▲51.1%	11 ▲93.8%	旅客、運送業 使用燃料など
⑤一般廃棄物	2	2 0.0%	2 0.0%	廃棄物の焼却など
合計	525	270 ▲48.6%	58 ▲89.0%	

伊那から減らそうCO₂!!

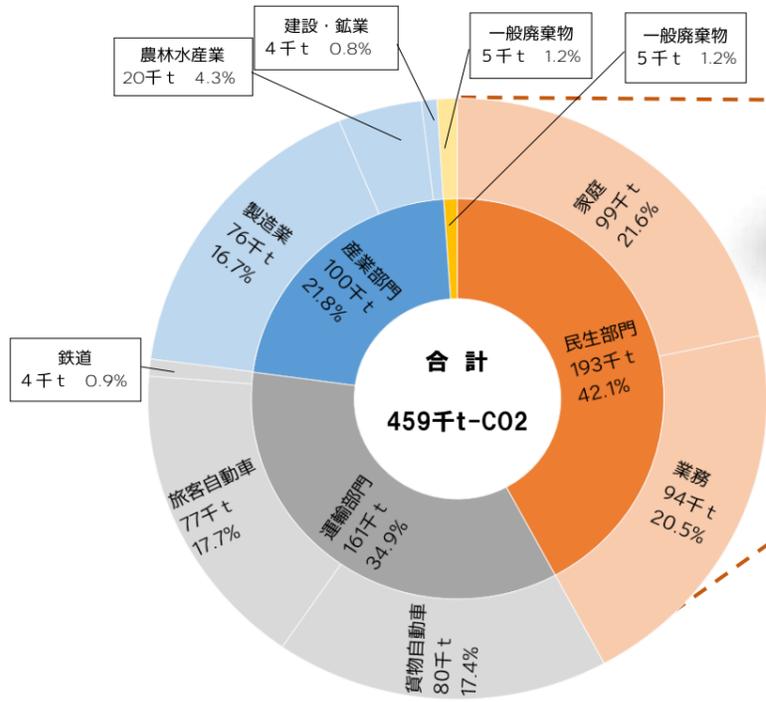
～低炭素社会の実現に向けて～
伊那市二酸化炭素排出抑制計画 (令和3年3月改定)



伊那市が独自に取り組むCO₂排出抑制計画 “伊那から減らそうCO₂!!”

基準：2013年度 402,533 t-CO₂ (森林吸収量：122,467 t-CO₂)
 中間：2030年度 137,300 t-CO₂ (森林吸収量：132,700 t-CO₂)
 長期：2050年度 ▲75,700 t-CO₂ (森林吸収量：133,700 t-CO₂)

2019年 伊那市の部門別CO₂排出量(割合)



2019年 伊那市のCO₂排出量 45万9千トンCO₂
 市民一人当たり 6.9トンCO₂

このうち、家庭部門だけをみると 9万9千トンCO₂
 1世帯当たり 3.6トンCO₂
 市民一人当たり 1.5トンCO₂



一般世帯省エネ化(LED含む)
 9,000戸 ⇒ 17,859戸 ⇒ 19,000戸
 公共施設のLED化
 7カ所 ⇒ 55カ所 ⇒ 195カ所
 ・建物 28.2% ・街路灯 100%
 ・自治会設置防犯灯切替 3,551灯

項目	単位：t-CO ₂	実績				直近との差	目標	進捗 (%)
		当初 H28.12	R 3 末	R 4.12	R 4 末			
太陽エネルギー	太陽光発電	11,876	20,197	20,620	21,079	459	30,626	68.8
	太陽熱利用システム	216	410	435	473	38	720	65.7
	計(A)	12,092	20,607	21,055	21,552	497	31,346	68.8
木質バイオマス	薪ストーブ	613	2,110	2,114	2,256	142	2,266	99.6
	ペレットストーブ	257	637	639	701	62	773	90.7
	ペレットボイラー	370	1,136	1,136	1,136	0	2,396	47.4
	家庭用木質バイオマスボイラー	0	0	0	0	0	125	0.0
	計(B)	1,240	3,883	3,889	4,093	204	5,560	73.6
省エネ・LED化	一般家庭	5,400	15,812	16,841	18,066	1,225	21,869	82.6
	公共施設	156	609	612	704	92	750	93.9
	計(C)	5,556	16,421	17,453	18,770	1,317	22,619	83.0
その他	公共施設ZEB化	0	0	0	0	0	65	0.0
	小水力発電	48	371	371	371	0	3,155	11.8
	バイオマス発電(木質・有機)	0	0	0	0	0	7,200	0.0
	一般廃棄物発電(上伊那クリーンセンター)	0	3,632	3,632	3,632	0	3,632	100.0
	計(D)	48	4,003	4,003	4,003	0	14,052	28.5
合計(A+B+C+D)	18,936	44,914	46,400	48,418	2,018	73,577	65.8	

脱プラスチックへの取り組み

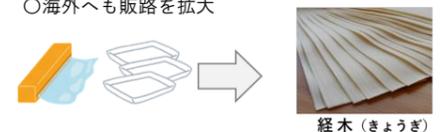
1 レジ袋の削減

エコバックの制作、配付の取組み(普及・啓発)
 R2：13,500枚 R4：5,500枚 配布
 (企業様、事業所様等と協賛による取組み)



2 経木の活用

プラスチック製の代替品の活用
 ○伊那市での生産量 80,000枚/月
 ○海外へも販路を拡大



3 麦ストローの活用

プラスチック製の代替品の活用
 農業、福祉連携事業として取組み
 ○生産本数 R3：4,000本 R4：4,000本
 R5：5,000本見込



4 ヘチマたわしの普及

スポンジたわしの代替品として、ヘチマの栽培からたわし制作に取り組んでいます。農業、福祉連携事業として、社会福祉協議会において作られています。
 ○生産数 R3~R4：160個
 R5は100人に種を配布、秋にヘチマたわし作りWSを開催予定

